

昨日は結局やりました、23:59まで。

実のことを言いますと、昨日はある生徒のことが心配で23:59までやろうと決めたんです。

で、その生徒が残って頑張ってくれ、結局合格点までは行かなかったものの、最初に比べればかなり点数が上がりました。

本人も危機感を覚えていたようで、

「今日塾来てからすぐに『明日テストでヤバイです』って言おうと思ってました！」
と言っていました 笑”

みっちりカリキュラムを組んでいる塾ですと、

「あ、そう。頑張ってるね」くらいしか言えないので、私はやっぱり、さくら柳塾のやり方が好きですね。

さて。

【やる気を引き出す褒美】

昨日、中2で「満点取ったらハーゲンダッツを買ってもらえる」という話をしている生徒がいました。

それを聞いた別の生徒が、最初は私から買ってもらえると思って

「マジすか!？」

と偉いテンションが上がっていたのですが・・・

(その後、「え、俺じゃないよ 笑”」と言って、『あー...』となっていました 笑”)

300円弱でやる気を出してくれるんですって。

何ともありがたい話ではないでしょうか。

今日英単語テストがあったかと思しますので、
結果が返って来たら、是非ハーゲンダッツか豪華なアイスを買ってあげてください。
い。

個人的には、ハーゲンダッツよりグランッてアイスの方が好きですね。
コスモスで買ったら安いです 笑”

ここでのミソは、結果ではなく行動を褒めること、です。
点数が何点であったとしても、

「柳先生が『すっごく頑張っていました』って言いよったよ。
あんた頑張ったやない」

と言ってあげてください。

結果を褒めれば、結果に注目するようになります。
過程を褒めれば、過程に注目するようになります。

どちらも大事ではありますが、
やはり「頑張ったから、結果が出た」ということを自覚してもらう必要があります。
す。

結果に注目するのは、9割以上の点数を取れるようになってからでいいですよ。

定期考査のときだけでなく、こういった小さいことを積み重ねて、
少しずつ勉強する習慣がついていくと考えております。

よろしくお願い致します。

それでは！